

たて込み簡易土留めの設計計算 Ver.3

プログラム価格
¥129,800
(税抜¥118,000)

たて込み簡易土留設計施工指針に基づいた設計計算プログラム

Windows 10/11 対応

電子納品 3D PDF

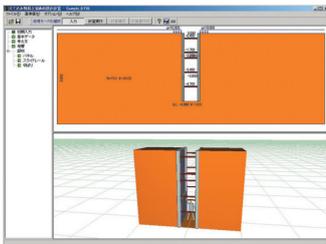
「たて込み簡易土留設計施工指針」に基づいて、特殊条件下の設計施工として「腹起し・切ばり方式」「スイング方式」に対応（H30年4月）、長尺管吊り下し区間の検討（H20年9月）に対応しています。

- 対応工法: スライドレール方式、縦梁プレート方式
- 捨ばり施工時の検討: 捨ばり施工時、パネル/プレート、スライドレール/縦梁、最下段切ばり、捨梁の検討
- 縦梁プレート方式の場合、縦梁連結部（シュー）の検討可能
- 長尺管吊り下し区間検討: 切ばりの設計に代わり、腹起し、切ばりの検討
- 各社機材データを管理、機材テーブルとして提供、オリジナルデータも登録可能
- スライドレール、縦梁に働く荷重の荷重方法を選択可能
- 縦梁プレート方式の場合、最下段切ばり位置のプレート長手方向の計算可能
- 変端面切ばりの場合、座屈長係数を直接入力可能
- 捨梁の設置位置の指定、捨梁座屈長の任意入力可能

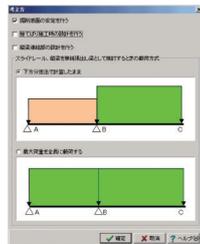
適用基準

1. たて込み簡易土留設計施工指針-2018年改訂版-H30年4月 たて込み簡易土留協会（サポートパネル協会）
2. たて込み簡易土留設計施工指針 H20年9月 たて込み簡易土留協会（サポートパネル協会）
3. たて込み簡易土留設計施工指針 H18年9月 たて込み簡易土留協会（サポートパネル協会）

▼メイン画面



▼考え方



土留め工の性能設計計算（弾塑性解析II+） Ver.2

プログラム価格
¥233,200
(税抜¥212,000)

Windows 10/11 対応

電子納品

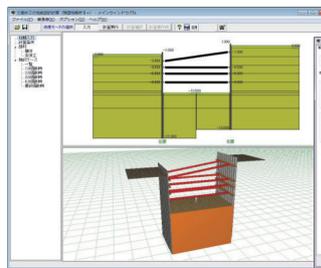
体験セミナー

斜め切ばり等に対応した土留め工の弾塑性解析プログラム

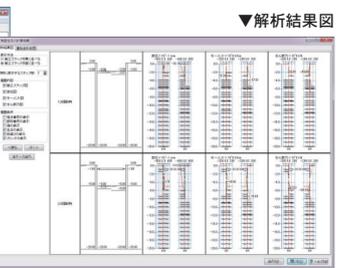
解析法 II（Engineer's Studio® を用いた弾塑性解析）を拡張させた弾塑性解析専用のプログラム。「土留め工の設計」では検討できない「斜め切ばり」「切ばり+アンカー併用工での両壁一体解析」「支保工撤去順序の自由化」に対応しています。

- 斜め切ばり: 両壁一体解析の場合、切ばり支保工は剛性部材としてモデル化されますが、本製品では左右の設置位置が異なる場合に対応
- 切ばり+アンカー併用工（両壁一体解析）: 両壁一体解析可能、切ばりは剛性部材として、アンカーは支保工バネとしてモデル化
- 両壁一体解析での左右アンカー段数が異なるケース: 切ばり+アンカー併用工での両壁一体解析が可能、段ごとに片側壁アンカーを「設置しない」設定可能
- 支保工の撤去方法の多様化: 撤去順序自由に設定可能
- 解析方法: 各施工段階の構造解析に「Engineer's Studio®」の解析部を使用
- 「非対称バイリニアばね」を適用することにより、変位の方向に応じて主働バネと受働バネに対応可能
- 「荷重分割荷重」と「非対称バイリニアばね」によって弾性範囲を超えたときのバネ反力を上限値に抑えることが可能
- 当該施工段階における荷重のみを荷重、施工段階における変位の方向を評価

▼メイン画面（斜め切ばり）



▼解析結果図



ライナープレートの設計・3DCAD NEW

プログラム価格
¥264,000
(税抜¥240,000)

Windows 10/11 対応

電子納品 SXF3.1

IFC 3D PDF

ライナープレート立坑の設計計算、図面作成プログラム

3DA対応

計算・CAD統合

ライナープレート設計・施工マニュアルに基づき、ライナープレート立坑の設計計算および図面作成、3Dモデル生成を行うプログラムです。立坑断面の大きさ、地盤条件等の入力で、ライナープレート立坑の設計計算を行うことができます。円形、小判形、矩形断面に対応しています。

【計算機能】

- ライナープレートとモルタルライニング（遠心力吹付け工法）による混合工法の照査
- ライナープレートと土留め構造（設計要領 第二集）による混合工法の照査
- 土圧の算定: 静止土圧、ランキン土圧、テルツァギ土圧、地下水位の考慮に対応
- 地下水位の影響（水圧の算定）: 静水圧式を適用
- 座屈に対する照査: 円形、小判形断面（半円部）の座屈を照査
- 応力に対する照査: ライナープレート、補強リングの応力度を照査、矩形断面は補強リングの継手の設計も対応
- 支保工部材の検討（小判形・短形）: 縦梁、腹起し、切梁の応力度を照査
- 限界深度の計算: 設計区間長の限界深度を自動算出
- 検討ケースの照査: 複数検討ケースの照査が可能
- 半自動設計機能: 立坑断面の半自動設計に対応
- ライナープレートおよび補強リングの二次元図面の生成が可能
- 別製品深礎フレームの設計・3D配筋とデータ連携が可能
- 主な用途: 推進工法の発進・到達立坑、深礎工法、集水井の構築による立坑など

適用基準及び参考文献

適用基準

1. コルゲート・ライナー技術協会 ライナープレート設計・施工マニュアル 平成12年6月
2. 遠心力吹付け工法研究会 遠心力吹付け工法 技術資料 平成27年度
3. 東日本・中日本・西日本高速道路（株） 設計要領 第二集 橋梁建設編 平成28年8月

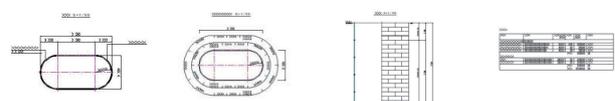
参考文献

1. （社）日本道路協会 道路標示方書・同解説 I 共通編 平成29年11月
2. （社）日本道路協会 道路土工 仮設構造物工指針 平成11年3月

【図面作成機能】

- ライナープレート立坑の平面図、構成図、断面図、材料表の作図に対応

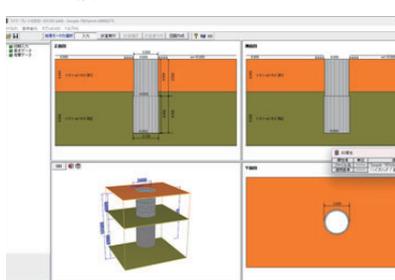
▼図面作成例



【3Dモデル生成機能】

- 3Dアトリビュート（属性表示）に対応
- DXF・DWGファイルやBMP・VRML・IFCファイル形式に対応

▼メイン画面



▼図面生成

